



令和5年2月28日14時00分
近畿地方整備局
福井河川国道事務所

報道関係者を対象に
中部縦貫自動車道 大野油坂道路 内覧会を開催

○令和5年3月19日に開通する大野油坂道路(大野IC～勝原IC間)の内覧会を
報道関係者を対象に開催致します。

■概要

- 開催日時 : 令和5年3月9日(木) 10:00～12:00
- 集合場所 : 道の駅 越前おおの荒島の郷(メインエントランス前)
- 集合時間 : 9:45～10:00
- 行程 : 1)挨拶
2)中部縦貫道の概要説明
3)大野IC～勝原IC間現場見学(延長10.0km)
(真名川橋、荒島IC付近、荒島第1トンネル坑内)

<取扱い> _____

<配布場所> 福井県政記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所
事業対策官 齋藤 哲也(さいとう てつや)
計画課長 中村 幸一郎(なかむら こういちろう)
電話:0776-35-2661(代表)

内覧会の開催について

令和5年3月19日(日)に開通する国道158号 中部縦貫自動車道 大野油坂道路の
大野IC～勝原IC間の内覧会を報道関係者を対象に開催致します。

- 日 時 令和5年3月9日(木) 10:00～12:00
- 集合場所 道の駅「越前おおの荒島の郷」(メインエントランス前)【別紙1】
- 集合時間 9:45～10:00
- 行 程 1)挨拶
2)中部縦貫自動車道の概要説明
3)大野IC～勝原IC間現場見学
(真名川橋、荒島IC付近、荒島第1トンネル坑内)

■報道関係者の内覧会参加について

- ・内覧会参加を希望される方は、3月3日(金)17:00までに電子メールにて事前申し込みをお願い致します。

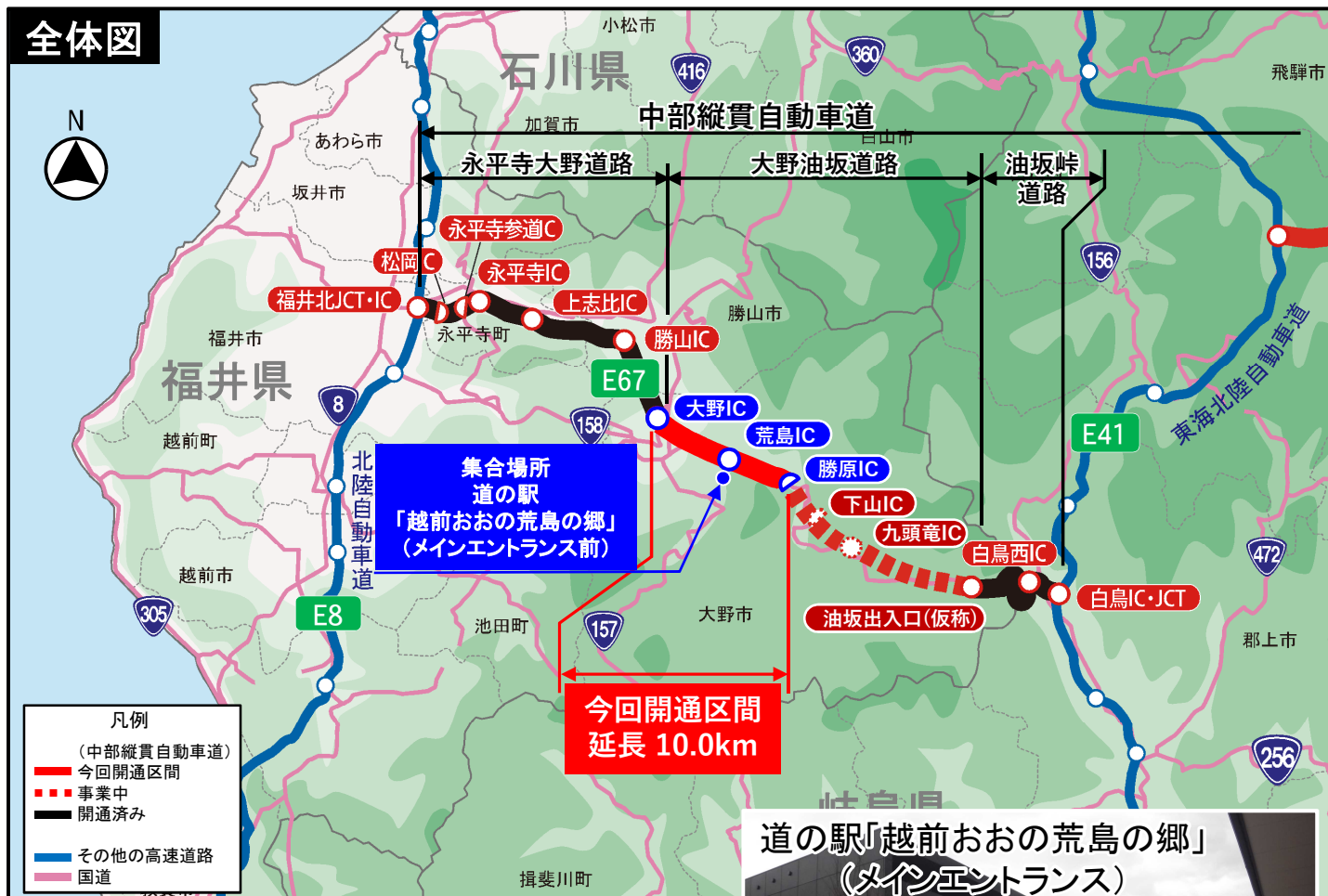
<事前申し込み方法>

- メールの件名を「大野油坂道路内覧会申し込み」とし、メール本文に①社名②参加人数
③参加者の氏名(同行者含む)④ご連絡先(電話番号・メールアドレス)
⑤車両台数を記載の上、kkf-info-fukui@mlit.go.jp までご送付ください。

【留意事項】

- ・集合場所(道の駅「越前おおの荒島の郷」)には、お車でお越し下さい。
- ・現場での撮影等、取材につきましては係員の指示に従って下さい。
- ・解散は大野ICにて、12:00を予定しています。
- ・悪天候の場合は、中止させていただきます。
- ・現場では、ヘルメットを持参し着用をお願い致します。
- ・今般の新型コロナウイルスの状況を踏まえ、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」等の感染症予防対策にご協力をお願い致します。

中部縦貫自動車道 大野油坂道路(大野IC～勝原IC間)内覧会 集合場所案内図



事業の概要

参考

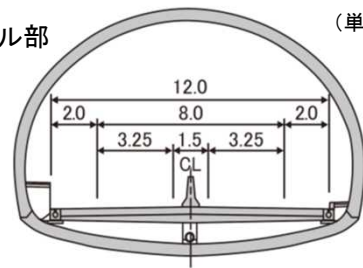
中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、奥越地方を通過し、福井県に至る約160kmの高規格道路(自動車専用道路)であり、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的としています。

大野油坂道路は、中部縦貫自動車道の福井県域を構成し、高速道路ネットワークの形成、異常気象時の交通の確保、文化・地域の資源を生かした地域の活性化を目的とした自動車専用道路です。

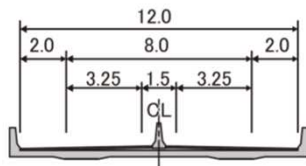
【事業の概要】

区間	大野油坂道路 【大野・大野東区間】	大野油坂道路 【大野東・和泉区間】
		(起) 福井県大野市中津川 (終) 福井県大野市下唯野
道路延長	5.5km	14.0km
構造規格	第1種4級	第1種4級
設計速度	60km/h	60km/h
車線数	2車線	2車線
標準幅員	13.0m	13.0m

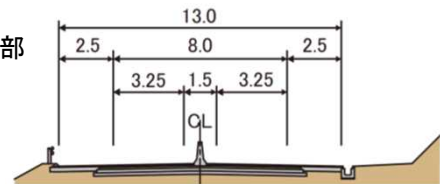
●トンネル部 (単位:m)



●橋梁部



●土工部



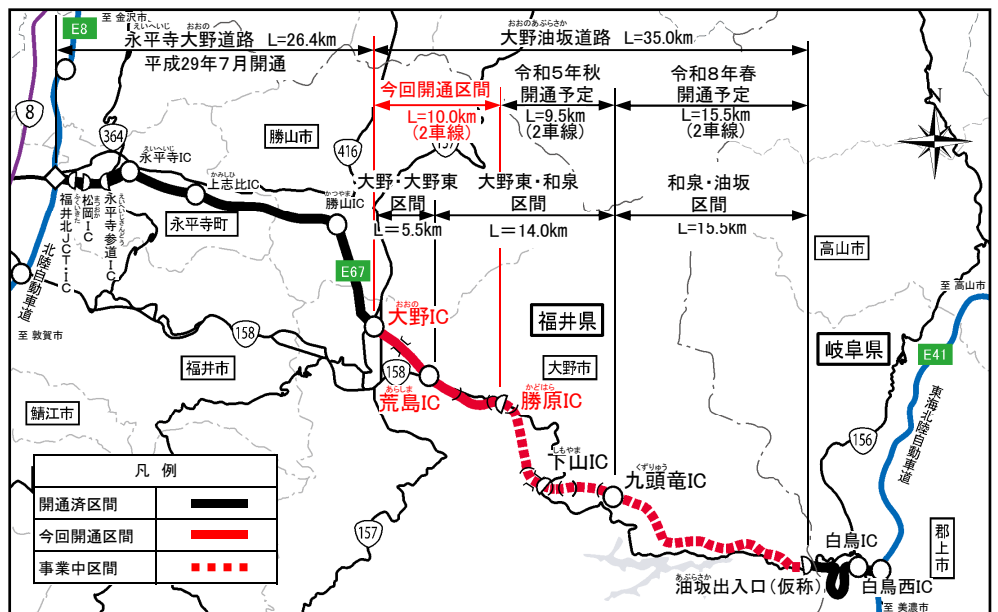
【主な事業の経緯】

区間	【大野・大野東区間】	【大野東・和泉区間】
事業化	平成27年度	平成20年度
用地着手	平成30年度	平成24年度
工事着手	令和元年度	平成26年度

【位置図】



凡例	
中部縦貫自動車道	
開通済区間	——
今回開通区間	——
事業中区間
その他の高速道路	
開通済区間	——



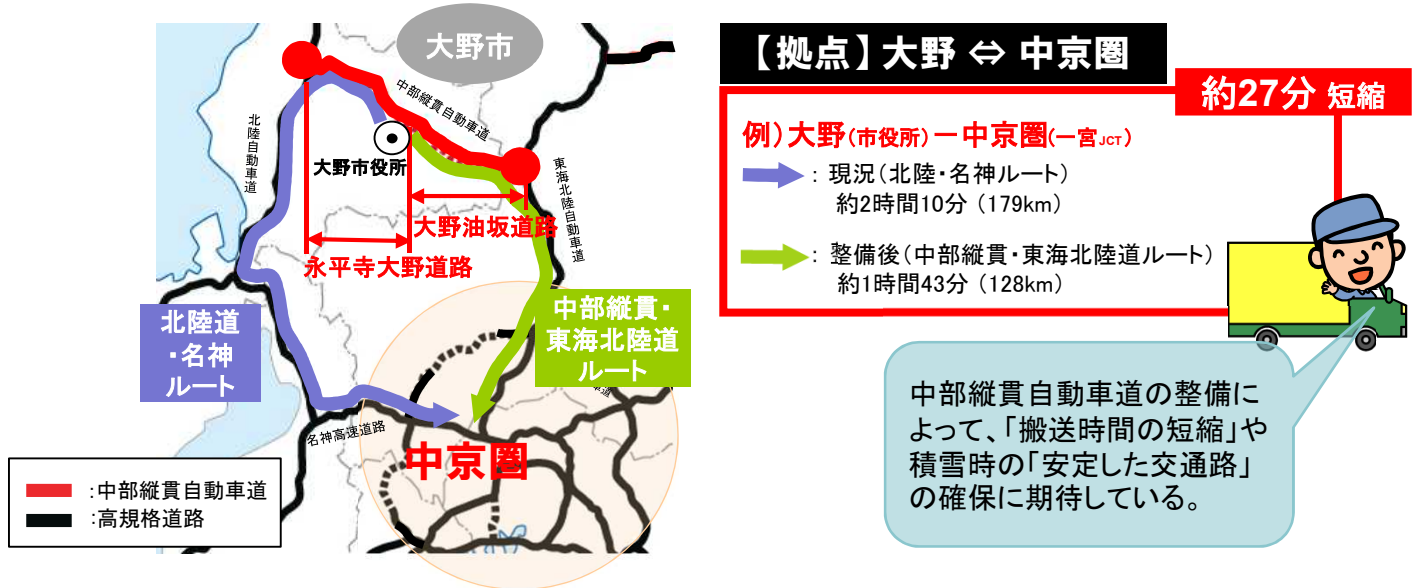
凡例	
開通済区間	——
今回開通区間	——
事業中区間

高速道路ネットワークの形成

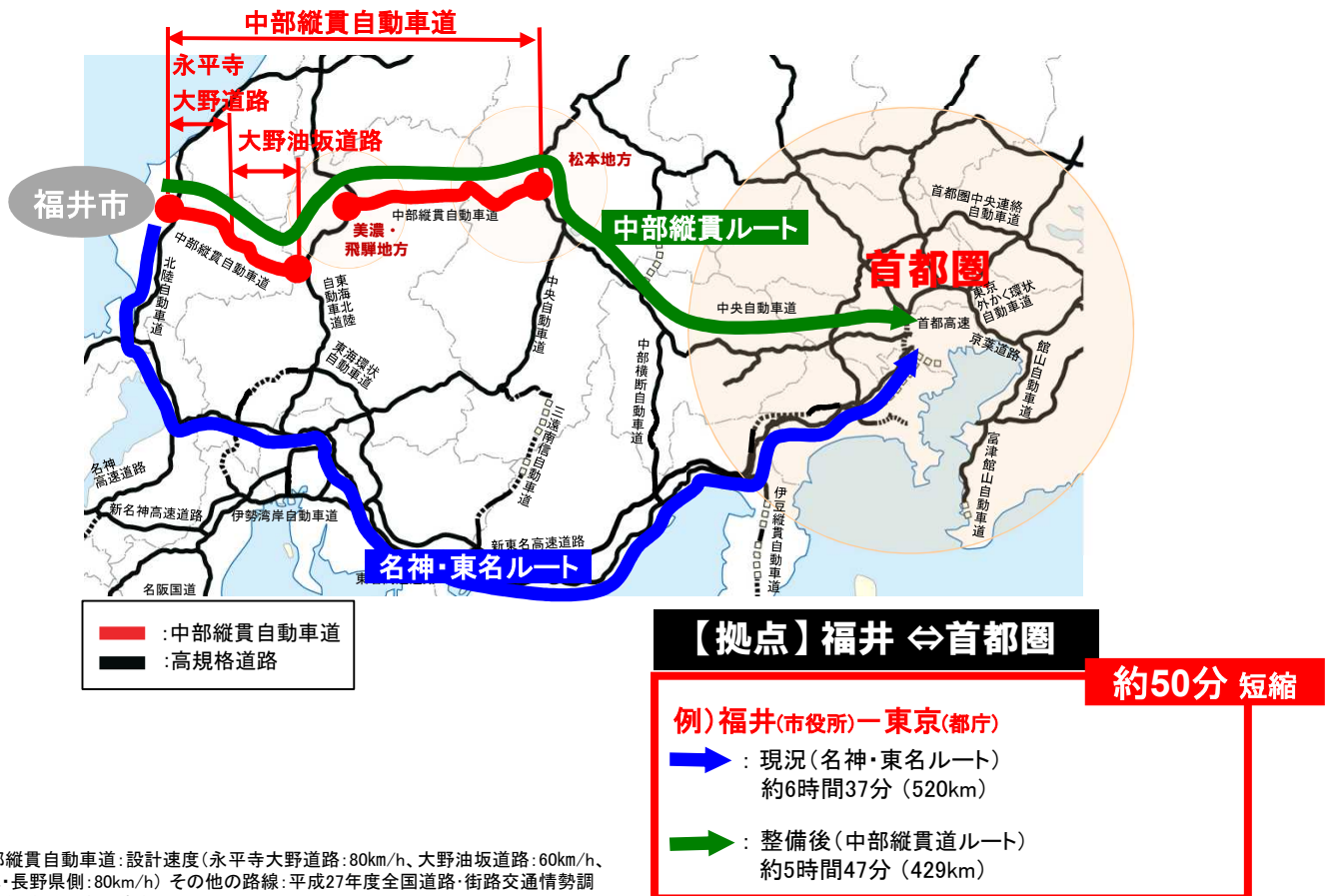
参考

- 中部縦貫自動車道の整備により、大野市と中京圏の新たな高速ルートが形成され、物流搬送等の信頼性が向上。
- 既存ネットワーク(東海北陸自動車道、中央自動車道)を相互に連絡する高速道路ネットワークが新たに形成され、福井市と首都圏とのアクセスが大幅に向上。

中京圏との新たな高速ルートの形成



高速ネットワークの形成による拠点アクセス性の向上



出典: 中部縦貫自動車道: 設計速度(永平寺大野道路: 80km/h、大野油坂道路: 60km/h、岐阜・長野県側: 80km/h) その他の路線: 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査(混雑時平均旅行速度)

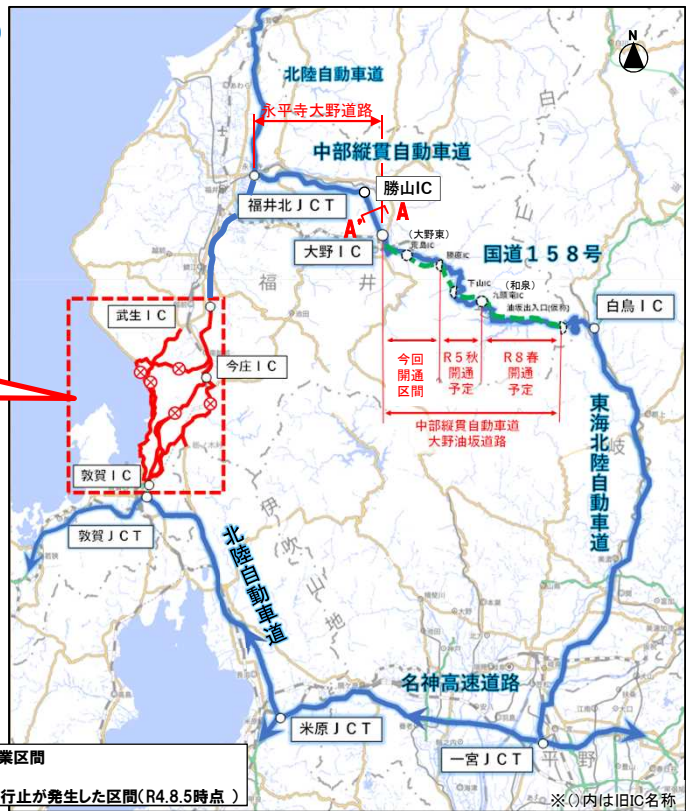
※中部縦貫自動車道全線開通による整備効果

災害時の代替路の確保

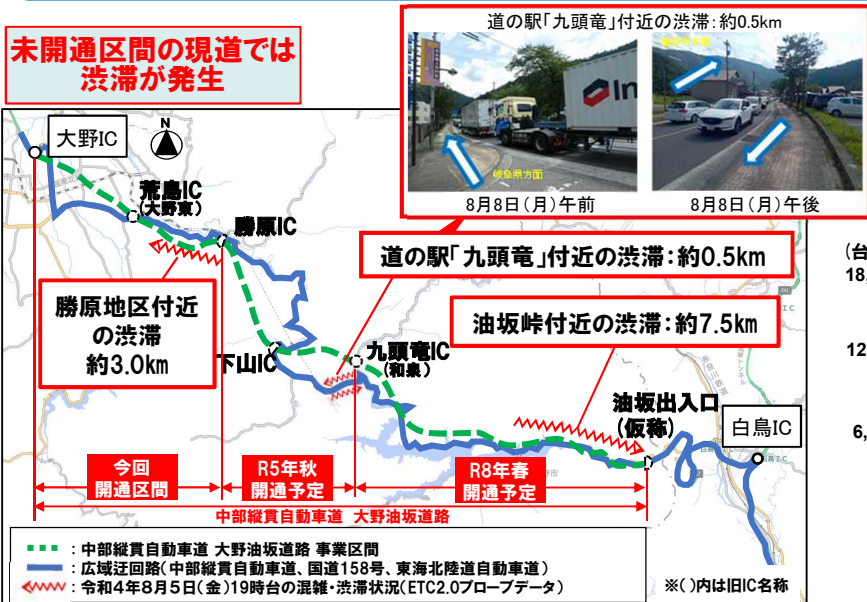
参考

- 令和4年8月福井県での豪雨災害時に、北陸道・国道8号など日本海側の全てのルートが被災し、通行止を実施。
- 日本海側ルートの通行止め時、中部縦貫自動車道の開通済み区間では、交通量が被災前の約1.6倍に増加、特に大型車の交通量は約3倍に増加するなど、広域迂回路として活躍した。一方、未開通区間の現道では渋滞が発生。
- 中部縦貫自動車道の整備により、北陸自動車道が通行止めとなった場合、中部縦貫自動車道～東海北陸自動車道経由のルートが機能することにより、災害時の代替路が確保される。

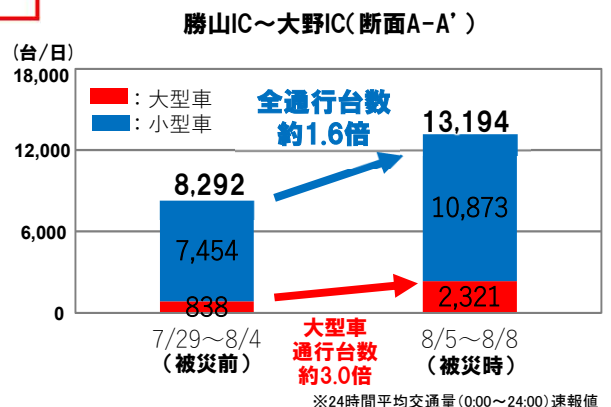
令和4年8月豪雨災害被災状況



迂回路(中部縦貫自動車道)の渋滞状況



中部縦貫自動車道の交通量は大幅増加

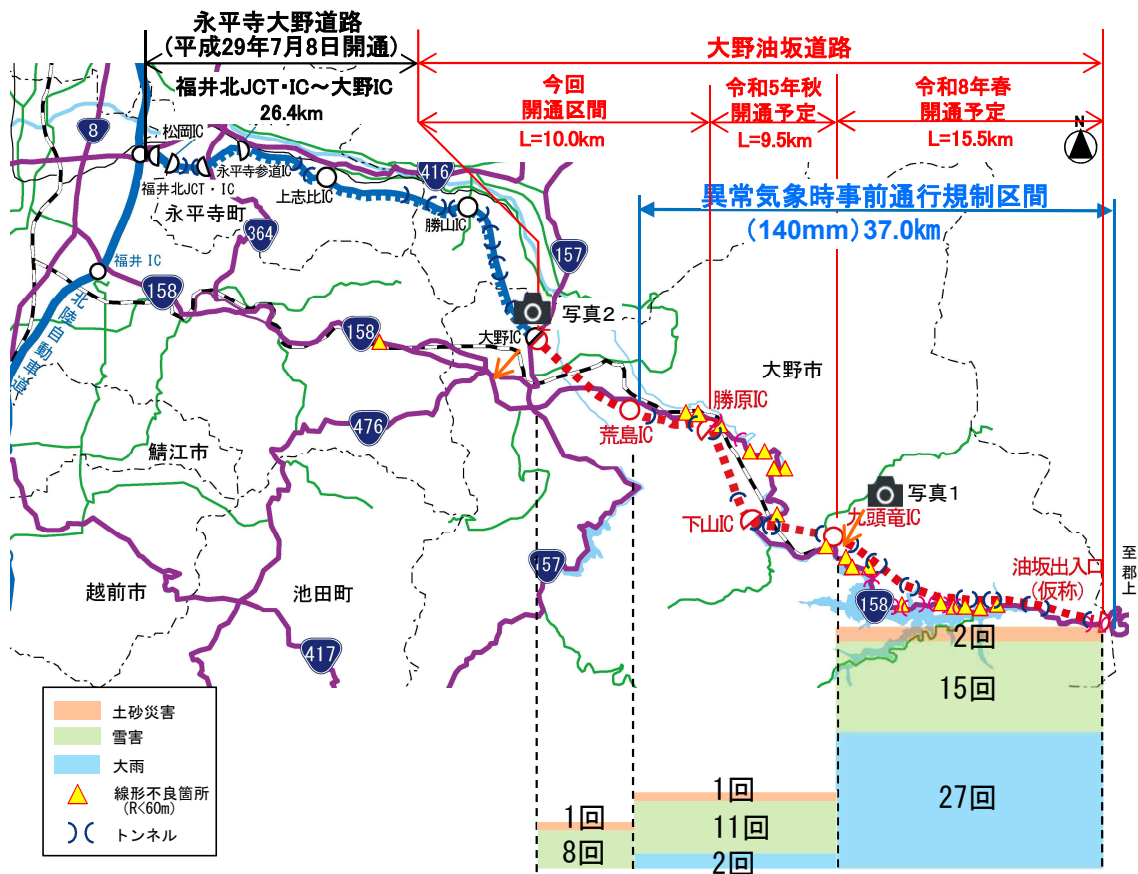


異常気象時の交通の確保

参考

- おおのあぶらさか大野油坂道路と並行する国道158号は、過去18年間で大雨、積雪、土砂災害等による通行止めが異常気象時事前通行規制区間を中心に67回発生。また同区間内には、線形不良箇所が18箇所存在する。
- おおのあぶらさか大野油坂道路の整備により、異常気象時事前通行規制区間や平面線形の厳しい現道の通行を避けるとともに、事業区間内における異常気象時の交通の確保が期待される。

国道158号の自然災害による通行止め回数(H16～R3)



※線形不良箇所は設計速度40km/hの最小曲線半径の規定値を満たさない箇所
 ※複数区間に跨る規制があるため、規制発生回数と区間別規制発生回数の合計は一致しない

出典：福井県提供資料

土砂崩れ・道路冠水の状況



H26.7.29撮影(写真1)



H30.7.5撮影(写真2)

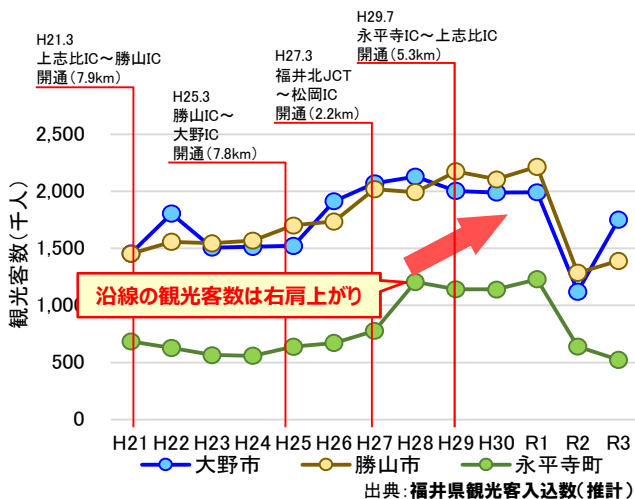
観光周遊機能の向上

参考

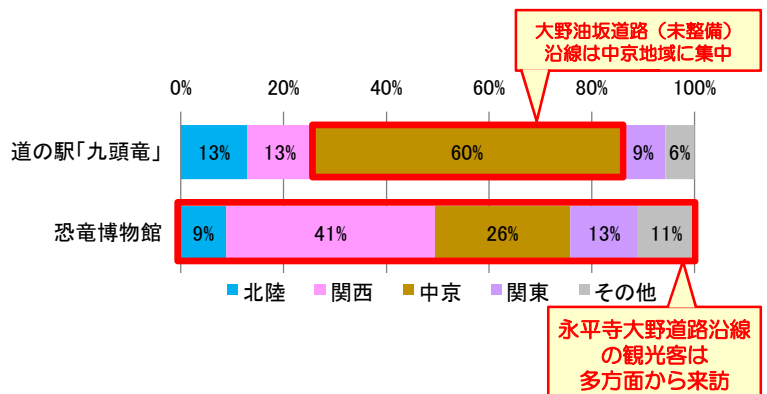
- 中部縦貫自動車道(永平寺大野道路)の開通に伴い、沿線地域の観光客数が大幅に増加。
- 永平寺大野道路沿線にある「恐竜博物館」は多方面から観光客が来訪している一方で、大野油坂道路沿線の「道の駅九頭竜」に訪れる観光客は中京地域に集中し、周遊コースが連続していない状況。
- 大野油坂道路の開通により、東西の周遊機能が向上し、沿線の観光施設等への観光客数の増加が期待。



観光客数の推移



発地別県外観光客数の割合



～道の駅の声～

当駅から、大野ICや白鳥ICまではともに、約40分要します。また大野市街地から岐阜県境までは急カーブが多く、県外車両による交通事故も発生しています。

大野油坂道路が開通すれば、所要時間が短縮し、中京方面や北陸方面の周遊が容易となることで、周辺観光施設の大本山永平寺やかつやま恐竜の森等と一体となった周遊観光ができるようになり、より多くのお客様に来訪頂けることを期待しています。

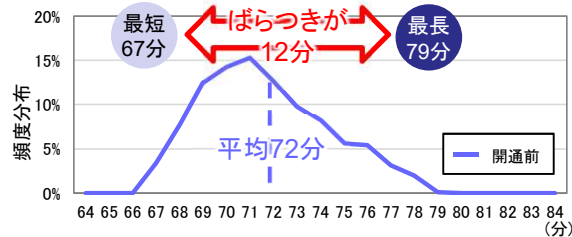
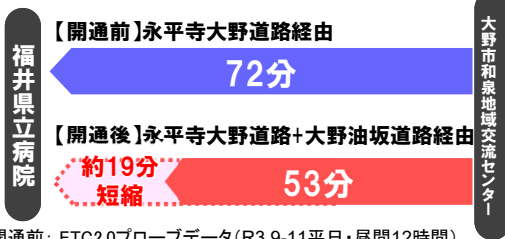
出典: ヒアリング調査(道の駅九頭竜 R2年12月)



- **大野市和泉地域交流センターから第三次救急医療施設の福井県立病院には、永平寺大野道路を利用して救急搬送。**
- **大野油坂道路の開通により、搬送時間の短縮、定時性の確保、走行時の揺れの減少による患者、救急隊員の負担軽減が期待。**



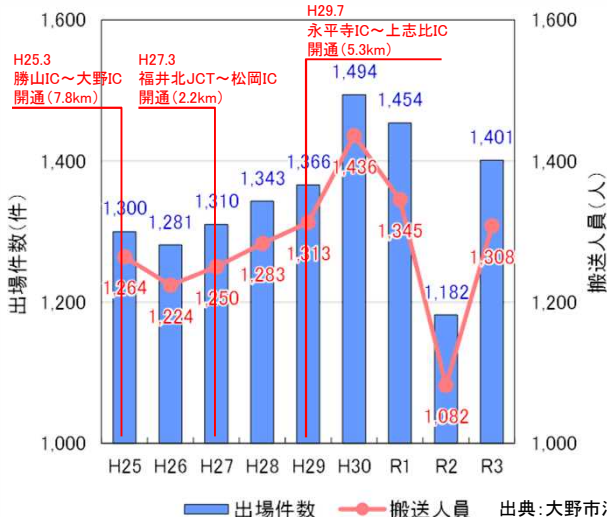
大野市和泉地域交流センター～福井県立病院間の搬送時間とばらつき



【出典】開通前：ETC2.0プローブデータ(R3.9-11平日・昼間12時間)
 ※開通後の大野油坂道路は60km/hで計算

【出典】ETC2.0プローブデータ(R3.9-11平日・昼間12時間)
 ※集計期間における15分間帯別平均所要時間の積み上げにより算定
 ※上下5%は特異値として除外

救急車出場件数と搬送人員の推移



～消防署の声～

大野市和泉地域交流センターから大野市街地へは国道158号しかありません。そのため、車両故障や事故・自然災害(雪崩)等が発生した場合、国道158号が通行可能になるまで待つ等、救急搬送に支障をきたしています。大野油坂道路が出来れば、患者への負担やドライバーの負担の軽減につながり、救命率の向上に寄与すると期待しています。

出典：ヒアリング調査(大野市消防本部 R2年12月)

